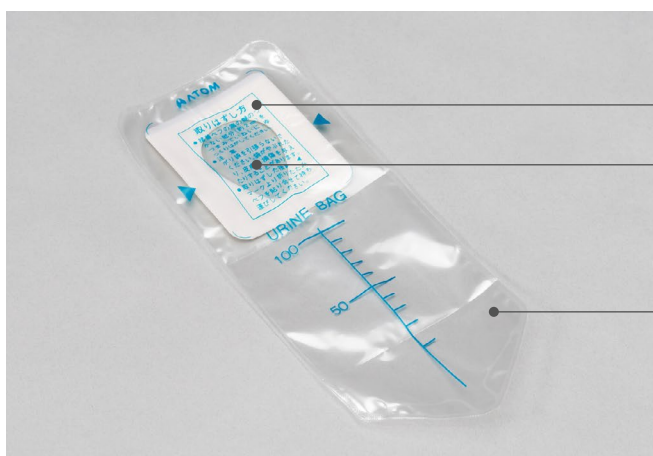


採尿バッグの使い方

先天性サイトメガロウイルス感染の検査は、生後3週間以内に赤ちゃんの尿を採取することで診断します。採尿バッグを用いて尿を採取する際は、便が混入したり、採尿バッグが体動で剥がれてしまうことがあるため、注意が必要です。注意するポイントをまとめましたので、採尿バッグを使用する際に参考にいただければ幸いです。

● 小児採尿バッグ (男児・女児兼用)



接着シート (シール状の貼り付け部分)

採尿口
(生殖器領域を入れ込む、接着シートの内側部分)

尿がたまる部分 (目盛り付き)

※ 女児用や未熟児用の採尿バッグもあります。詳しくは、アトムメディカル株式会社までお問い合わせください。

● 採尿バッグのお問い合わせ先: アトムメディカル株式会社 (https://www.atomed.co.jp/product/cat_disposables/163.html)

1. 採尿バッグの付け方

手順
1



会陰部・外陰部を湿らせたガーゼなどできれいに拭き取り、乾燥させてください。

手順
2

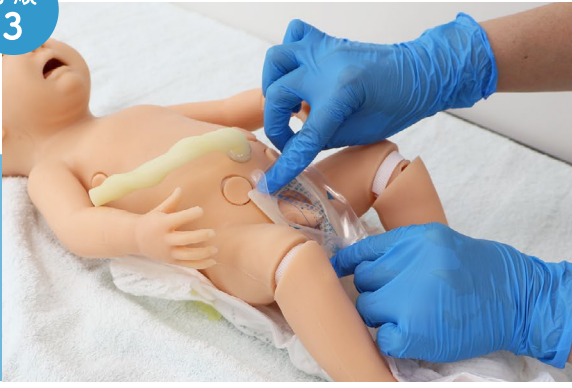


採尿バッグを袋から出し、接着シートのテープを外します。真ん中を外向けに、二つ折りにして持ちます。

※ 手順3 以降は裏面をご参照ください。

手順
3

男の子の場合



陰茎の位置を自然な状態でバッグの中に配置し、接着シートを周囲全体にしっかりと押しつけます。

女の子の場合



接着シートの下側を、肛門よりも少し上の位置で貼り付けます。接着は下から上に行き、陰唇を分けながら上方向に接着作業を行ってください。

足を開き、採尿バッグを生殖器領域にしっかりと貼り付けます。

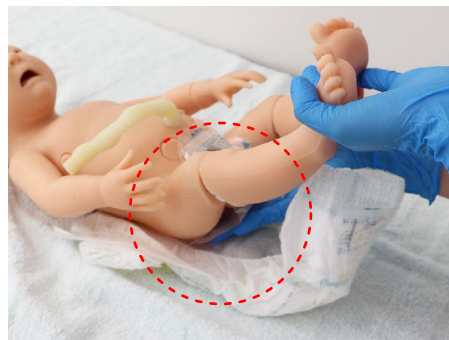
※ 接着シートの穴の中心部が、尿の出る部位になるようにしてください。

※ 接着シートが浮いていたり、皮膚のしわの上にとったりすると漏れやすいため、注意してください。

※ 接着シートを会陰部のくぼみに貼り付けるときは、採尿口が肛門にかからないように十分注意してください。

手順
4

袋はお尻側に入れ、おむつをして完了です。



2. 採尿バッグの外し方

手順
1



おなか側から接着シートを優しく外します。

手順
2



袋の底におしっこを集めて、採尿完了です。